

部局名	都市整備部	所属名	大和田駅南地区土地区画整理事務所	所属長名	立石 重雄	電 話	483-1151 内線4111
-----	-------	-----	------------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3337		事務事業名称	大和田駅南地区土地区画整理事業					短縮コード	経常		臨時	3337
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	02	都市整備費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		土地区画整理法，土地区画整理法施行令，土地区画整理法施行規則 八千代都市計画事業大和田駅南地区土地区画整理事業の施行に関する条例，八千代都市計画事業大和田駅南地区土地区画整理事業の施行に関する条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
大和田駅周辺は，立地条件と都市化傾向の増大等により無秩序な開発が進み，都市基盤の整備がたち遅れ，防災・衛生上からも放置しておけない地域であることから，良好な市街地整備を行い，地域の発展と公共の福祉増進に寄与するため，昭和44年1月に土地区画整理事業区域（約19.6ha）を都市計画決定し，基本計画を基に地元説明会を開催し理解と協力をお願いしてきた。 昭和61年4月に駅南側約5.3haについて，地元の有志による「まちづくり研究会」が発足，区画整理の事業化に向け話し合いを行い，昭和62年10月市施行の事業認可を取得して事業化された。 駅南口周辺を近隣商業地域，その他を第一種住居地域とし，建物等移転に併せ街区，都市計画道路等幹線道路，区画道路，歩行者専用道路，公園の造成工事の他，各事業者による上下水道，電気・電話・ガスの新設移設工事が行なわれている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第 5 章快適生活都市をめざして						
事業開始当時（昭和62年）の社会情勢はバブル期で，地元商業系の権利者において関連事業の市街地再開発事業計画など活発な活動があったが，バブルがはじけ社会情勢の変化に伴い同事業中止などにより，移転に向けた動きが鈍くなった。 現在は，残る大和田駅改札口前の商店街の移転を個々に進めているが，建物が密集し，移転元と移転先の位置関係や権利関係が輻輳し，調整及び理解と協力を得ることに困難があり，事業の進捗に期間を要していた。 。 都市計画道路 3・3・7号線及び都市計画道路 3・4・1 2号線の整備及び交番の移設を行いながら換地計画，換地処分等の業務を行っていく。 。					大項目（節）	05	第 5 節市街地整備						
					中 項 目	01	1. 市街地整備						
					小 項 目	02	(2) 土地区画整理事業の推進						
細 項 目	02	②既成市街地の整備											
実施計画の計画事業		5091	大和田駅南地区土地区画整理事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	事業区域 5. 3 ha							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ・区画道路整備 ・都市計画道路 3・3・7号線（物件移設補償 詳細設計） ・街区確定測量							
	※平成24年度に計画していること： ・換地計画 ・都市計画道路 3・3・7号線整備							
意図 （何を狙っているのか）	事業計画書にあわせた都市基盤整備が行われること							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業区域面積	ha	5	5	5	5	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	進捗率（事業費率）	%	94.9	96	96	98	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	進捗率（建物移転率）	%	100	100	100	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3337	事務事業名称	大和田駅南地区土地区画整理事業				所属名	大和田駅南地区土地区画整理事務所		
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			成果指標の進捗率（建物移転率）は100％であり、残る道路整備の実施、また換地処分等に向けた準備を進めていく。					
		☐ 手法プロセスの改革・改善								
		☐ 事業規模の拡大・縮小								
		☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他									
☐ 廃止・休止										
☐ 事業完了										
☒ 現状のまま継続										
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業の主な経費は、移設補償費、公共施設整備・宅地造成工事費・物件算定委託費・人件費で大きな割合で移設補償費・工事費で占めている。この移設費は損失補償基準に基づく経費で削減はできない。また、公共施設整備・宅地造成工事費・物件算定委託費については仕様・歩掛り・単価は千葉県の基準を準用し、指名競争入札が行われており、競争原理が働きコスト削減は図られている。その他の委託できる事務についてもすでに外部委託済であり、職員については、調査・管理・監督等の業務を行っており、臨時職員等に代えられない。以上の理由から経費と成果の間に変動はないものと考えられる。			
				削 減	不 変	増 加				
		成 果	向 上	☐	☐	☐				
			不 変	☐	☒	☐				
			低 下	☐	☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
早期の事業完了を求められている。 ①大和田周辺の交番について、大和田駅南地区土地区画整理事業により仮設交番となっており、本設交番への移転が未実施のままであるので、駅改札口付近に移転設置をしてほしい。 ②都市計画道路 3 ・ 3 ・ 7 号線及び都市計画道路 3 ・ 4 ・ 1 2 号線の早期整備を進めてほしい。（交差点の信号機設置）									

所属長コメント	本事業の平成23年度までの進捗状況は、事業費ベースで96パーセントとなり、事業が終盤を迎えている。 引き続き、都市計画道路等の幹線道路の整備並びに換地処分に向けた準備を行い、早期完了を目指し、事業を推進していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									